

シラバス情報

授業方法	(講義) • 実験 • 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	シャシ構造		
必修・選択	(必修科目) • 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期	・ 水曜日	・ 1・2時限あるいは3・4時限
時 限 数	2 4 時限 (中間及び期末試験を除く)		
担当教員名	廣石 泰大		
実務経験	(有) • 無		
	國土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシを構成する各装置についての講義を実施する。		
授業の目的	アクスル及びサスペンション、操舵装置、ホイール、タイヤ、を構成する各部品の構造・機能、及びそれらの装置の作動について講義する。		
テキスト	①三級自動車整備士(総合) (日本自動車整備振興会連合会 発行) ②二級自動車整備士(総合) (日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第 1 回	アクスル及びサスペンション	アクスルの構造、作動、種類及び特徴について解説	①P207~210 P219~221
第 2 回	アクスル及びサスペンション	スプリング及びショック・アブソーバの構造、作動、種類及び特徴について解説	①P210~214 P222~223
第 3 回	アクスル及びサスペンション	車軸及び独立懸架式サスペンションの構造、作動、種類及び特徴について解説	①P214~218 P221~222
第 4 回	操舵装置	操舵装置の概要、種類について解説	①P224~227
第 5 回	操舵装置	構造、作動、種類及び特徴について解説	①P227~230 P236
第 6 回	操舵装置	ステアリング・リンク機構の構造、作動、種類及び特徴について解説	①P231~232 P237~238
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第 7 回	操舵装置	パワー・ステアリングの構造、作動、種類及び特徴について解説 小テスト実施	①P233~236 P238
第 8 回	ホイール及びタイヤ 1	ホイールの構造、種類及び特徴について解説	①P239~242
第 9 回	ホイール及びタイヤ 2	タイヤの構造、種類及び特徴について解説	①P242~247
第 10 回	ホイール及びタイヤ 3	タイヤの呼称、異常現象について解説	①P247~250

第 11 回	ホイール及びタイヤ 4	異常などの症状や原因について、整備と調整方法や保守についての要点と注意点	①P250~253
第 12 回	まとめ		
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	アクスル及びサスペンション、操舵装置、ホイール、タイヤの基本となる部品名称・構造・機能・作動を修得するとともに、それらの関連性を理解する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 40%</p> <p>平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が 50 % を満たしていない場合、又は、成績評価が 60 点未満の場合。		